学びと生活通信

第３号
H30.6.15

ある学級でのこと

８時４０分頃、遅刻して登校した子が教室の後ろのドアから入ってきました。それに気づいた子が「〇〇ちゃん、おはよう！」と声をかけました。続いて数名が「おはよう！」「おはよう！」・・・。

級友たちからの声に「おはよう」と応じたその子は、自分の席に荷物を置くと、遅刻理由を述べようと担任のもとへ行きました。報告を終えもどった子に向かって、今度は隣の子が「プールカード持ってきた？」と尋ねました。きっと、隣の子は、全員が担任にカードを提出した際、その子がいなかったことに気づいたのでしょう。そして、一緒になってランリュックの中を探し始めました。

一連の言動の中に、「わにっこ」の明朗さ、優しさが伺われ、ただただ感心する私でした。

学び　校内研究について

テーマ：思考力・判断力・表現力を育てる授業実践

～主体的、対話的な学びの過程を重視した国語科学習指導を通して～

今年度は、上記のテーマで、「子どもたちが相手の意見を聴き、自分の考えと照らし合わせて考えを深め、自ら表現する活動を継続すれば、思考力・判断力・表現力が身につく」という仮説のもと、日々、各教員が実践を積み重ねていきます。学年単位の実践を基本とし、より子どもたちが自分らしく生き生きとした学校生活を送れるように授業を通して研究していきます。写真は、先日行われた、６年生の公開授業風景です。

生活

「くつピタ」「名札をつける」全校でがんばって取り組んでいます。

脚下照顧（きゃっかしょうこ）

先日あるお寺に行った時のことです。お手洗いをお借りし、出て行くときに**「脚下照顧」**という張り紙が目に入りました。気になり辞書で調べたところ、自分の足元をよくよく見よという意味がのっていました。もと禅家の語で、他に向かって悟りを追求せず、まず自分の本性をよく見つめよという戒めの言葉だそうです。転じて、「他に向かって理屈を言う前に、まず自分の足元を見て自分のことをよく反省すべきこと。また、足元に気をつけよ。」の意だとわかりました。

今、子どもたちは「くつピタ」をがんばっています。靴を揃えること、それは**「脚下照顧」**に通じるものがあるのではないでしょうか。

人権生活委員による「５月のくつピタチェック」（登校直後）では、全校の平均は約 54％と少し残念な結果でした。しかし、その中でも、帰り際にそっと友達の靴を揃える児童、クラス全員の靴を揃えてから帰る児童、友達に「くつピタだよ。」と促す児童など、きらりと光る動きをする児童がいます。そんな動きが全校に広まると嬉しいです。

なぜ、靴を揃えないといけないのでしょうか。
なぜ、名札を付けないといけないのでしょうか。

答えはきっと一つではないでしょう。
お家でも話題にしていただけると幸いです。

７月の下校予定

2日	3日	4日	5日	6日
月	火	水	木	金
1年～4年 14:35	1年 14:50	全校 14:50	1年･2年 14:50	1年～3年 14:50
5年～6年 15:35	2～6年 15:40		3年～6年 15:40	4年～6年 15:40
9日	10日	11日	12日	13日
月	火	水	木	金
1年～3年 14:35	1年 14:50	全校 14:50	1年･2年 14:50	1年～3年 14:50
4年～6年 15:50	2～6年 15:40		3年～6年 15:40	4年～6年 15:40
16日	17日	18日	19日	20日
月	火	水	木	金
海の日	1年 14:50	全校 14:50	全校 11:30	全校 11:30
	2～6年 15:40			

※下校時刻は、変更になることもあります。